



3. ヘルスコミュニケーション学関連学会機構賞 2023年度優秀論文賞受賞者コメント

家らしい奈¹⁾、奥原剛²⁾、岡田宏子²⁾、後藤英子²⁾、古川恵美¹⁾、木内貴弘²⁾

1) 東京大学大学院 医学系研究科 公共健康医学専攻、

2) 東京大学大学院 医学系研究科 公共健康医学専攻 医療コミュニケーション学分野

この度は、昨年の最優秀ポスター賞に引き続き、優秀論文賞をいただきありがとうございます。
筆頭著者の家より恐縮ながらコメントをさせていただきます。

はじめに、本論文の内容を簡単に以下にまとめます。

■健康食品を不健康な行動をとるための免罪符として描く、免罪符型の動画広告が視聴者の認識に与える影響を、公衆衛生の観点から世界で初めて評価した。

■免罪符型の広告が、視聴者の「健康食品を摂取すれば、不健康な行動をしてもよい、健康行動をしなくてよい」という誤った認識を高めていることを明らかにした。

■免罪符型広告の内容改善の重要性が示唆された。

本論文「健康食品の“免罪符型”動画広告が視聴者に与える影響の評価：ランダム化比較研究」は、査読付き国際誌 *healthcare* に掲載されており、東京大学大学院公共健康医学専攻の課題研究論文としても提出させていただきました。査読いただきました先生方からのコメント、医療コミュニケーション学教室の先生方のご指導、大学院生の皆様からのご助言、ディスカッションがなければ受賞はあり得ませんでした。

この場をお借りして心より御礼申し上げます。誠にありがとうございます。

私は、現在は民間企業に就職し管理栄養士として栄養とヘルスコミュニケーションに関する業務に取り組んでいます。大学院を出て2年が経ちますが、何度も教室で学んだことを振り返り活かす機会がありました。論文を国際誌に投稿することは初めての経験で、苦勞することもありましたが、就職して改めてこの経験の貴重さに気付かされます。このような機会を与えてくださった先生方、ご指導くださった皆さまに感謝しております。

これから新しい研究論文を発表できるよう、より一層精進して参ります。

誠にありがとうございます。

受賞論文

Iye R, Okuhara T, Okada H, Goto E, Furukawa E, Kiuchi T. The Effect of Exposure to “Exemption” Video Advertisements for Functional Foods: A Randomized Control Study in Japan. *Healthcare*